

# 協働事業評価シート

部課名	市民部 男女共同参画課	平成29年度
記入団体名	NPO法人 武蔵観研	

予算事業名	男女共同参画推進（協働委託事業）	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	------------------	--

協働事業名称	男女共同参画情報紙発行事業	
協働事業の概要	男女共同参画社会の形成を目指し社会的機運を醸成するため、男女共同参画に関する情報を幅広く提供し、意識改革への働きかけを積極的に行うことを目的とし、情報紙を発行する。	
協働事業の決算額	600,000（委託額）	円 ※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成29年6月15日 ～ 平成30年3月31日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	3	4	3.5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	3	4	3.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	4	4
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	4	4	4
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	4	4	4
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	3	4	3.5

合計点数	26.5 点
------	--------



イープンvol46

## 【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

### 【行政】

- ・協働委託というのは、官民双方の意見交換が重要であり、受託者の会議や打ち合わせには積極的に参加し、信頼関係や共通理解を深めていくことが大切と思われる。
- ・男女共同参画以外の分野で活躍している団体であり、新たな視点で情報紙を発行することができたと思われるが、もう少し、男女共同参画の視点をもって、進めてもらいたい。
- ・わかりやすさを前面に押し出した紙面作りを、受託者は心がけているが、レイアウト等工夫が必要と考える

### 【市民活動団体等】

男女共同参画情報紙は、啓蒙という意味合いがあるので、市民に読んでもらえるよう文字を大きくしたり、特殊性を抑えたりして、前年度より「やさしく、ためになる」をモットーに作成した。協働事業では、役割分担に基づき情報紙を発行しているが、紙面をつくる割り振り段階での意思統一が特に必要であり、何をどう載せるか、短い時間の中での作業になるが、各編集委員の集中的な協力が不可欠と考える。

## 【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	0名	B
B	7名	
C	2名	
D	1名	

### 【事業に関するコメント】

昨年度は情報紙発行に遅れが生じてしまいましたが、今年度は所管課と情報交換を密にして、計画通りの発行ができた点は良かったと思います。

一方で、情報紙をツールとした男女共同の意識啓発事業は大変有効ですが、今年度は実施した事業・活動に関する記事が多い印象がありましたので、様々な情報が盛り込まれた紙面を構成するとともに、時には読者の意見・感想をフィードバックしながら、市民が男女共同について考えるきっかけとなる情報紙となるよう努めてください。また、他市や企業の男女共同参画に関する情報を盛り込んでみるのもいかがでしょうか。

# 協働事業評価シート

<b>部課名</b>	市民部 男女共同参画課	平成29年度
<b>記入団体名</b>	川越市女性団体連絡協議会	

<b>予算事業名</b>	男女共同参画推進	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--------------	----------	--

<b>協働事業名称</b>	イーブンライフin川越		
<b>協働事業の概要</b>	○イーブンライフin川越の開催 1. 開催日 平成29年11月25日(土) 2. 会場 川越市市民活動・生涯学習施設 活動室1・2 (ウエスタ川越2階) 3. 内容 講演 講師 安田 菜津紀氏(フォトジャーナリスト) 演題 「伝えることをあきらめない」 4. 来場者 126名(女性97名、男性29名)		
<b>協働事業の決算額</b>	200,000	円	※委託額及び補助金額を記載
<b>事業の実施期間</b>	平成29年6月30日から11月30日		

<b>協働の提案者</b>	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
<b>協働の形態</b>	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

### 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)  
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	4	4	4
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	4	5	4.5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	32 点
------	------



講演する安田さん

**【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】**

**【行政】**

今回の講師は、若手フォトジャーナリストとして活躍する安田菜津紀さんで、コメンテーターとしてテレビに出演されていることもあり、例年と比べて、若い世代や男性の方にも多く参加していただくことができた。

人権や男女共同参画等について、貧困や紛争、災害など、幅広いテーマでお話していただき、アンケートの結果からも効果的な講演会が行えたと思う。

受託者とは良好な協働関係を保ちながら、それぞれの特性を活かして事業を実施することができた。

**【市民活動団体等】**

昨年の反省を踏まえ取り組みました。協働事業として行う事により行政とも理解し合うこともできました。昨年の反省も踏まえ取り組みました。講師選びは一番気を使いますが今回は幸いにしてコメンテーターとして「サンデーモーニング」に出演している安田菜津紀氏をお願いできました。今後も市民の皆さんに期待して頂けるように努力していきたい

**【川越市協働事業審査委員会における評価】**

		評価結果
A	5名	B
B	5名	
C	0名	
D	0名	

**【事業に関するコメント】**

今年度の講師の人選は素晴らしく、会場はほぼ満席となり、また過去の事業より男性の参加が多かったことは男女共同参画の講座としては成功と言えるのではないのでしょうか。また、当日の運営でも、行政職員と団体メンバーが協力し合って実施している様子が見て取れ、行政と団体の信頼関係が窺えました。

男女共同参画は問題の本質がわかりにくく、日常における問題として感じにくいものですが、こうした講演を通じて、問題を可視化できるように、継続して行っていただきたいと思います。

# 協働事業評価シート

部課名	こども未来部こども政策課	平成29年度
記入団体名	NPO法人川越子育てネットワーク	

予算事業名	子ども・子育て支援新制度	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	--------------	--

協働事業名称	子育て情報誌作成	
協働事業の概要	子育て中の方やこれから子育てする方が安心して子育てができるよう、行政の制度、各種相談窓口、出産・子育てに関する情報などを紹介するための情報誌を作成する。	
協働事業の決算額	127,930 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成29年 7月 5日 ~ 平成30年 3月31日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	4	4.5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	33.5 点
------	--------



こえどちゃん  
(平成29年度版)

## 【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

### 【行政】

当事業は今回で16版目となる子育て情報誌の作成を行うもので、子育て当事者と行政双方の視点から子育て情報を掲載し、市内の未就学児のいる世帯へ冊子を配布することで、子育てを支援するものである。

掲載内容については、市民活動団体の意見等を取り入れることで、ニーズに合った情報を掲載し、前例踏襲ではない事業の実施ができています。今後の発行においても、ボランティアの方々の意見を集約し、より役立つ情報誌としていきたい。

また、平成27年度版からは、編集印刷等を担当する民間事業者と協定を締結し、3者で事業を実施している。これに伴い、子育て支援施設や幼稚園、保育所等を通じ、合計2万部を子育て世帯に配布することが可能となった。その一方、民間事業者の株式会社ホープとは初めての事業実施であったことや、編集作業を外部で行ったことにより、校正時間を十分に確保できなかった。次回は今回の実績を踏まえ、円滑に事務が進められるようスケジュールの見直しが必要である。

### 【市民活動団体等】

昨年度同様、企業+行政+NPO法人の3者での制作で、我々NPO団体としては、妊娠中・子育て中の母親、父親にお伝えしたいリアルな体験記事の制作と、温かみのある風合いにこだわった情報誌が作成できたのではないかとと思う。業者が変わり、戸惑うところもあったが、初稿の制作期間を要望通り長くとももらい、あまり焦ることなく、制作ができたことが良かった。

全ページフルカラーで見やすく、且つ発行部数20,000部は未就学児のいる全世帯に配布できる数で、多くの人へ情報が届けられるのは大変嬉しいことである。担当課には各課との調整や情報誌作成業者とのやり取りを窓口として仲介していただき、年を重ねるごとに信頼感が増し、スムーズな連携が取れている。

今年度は、妊婦さんページの充実(135名のアンケート)、働く母親の実態や保育園探し、シングルマザーや多胎児育児、ダブルケアといった、届けたい方にピンポイントで伝わるテーマを中心に構成し、体験談やエールを多く掲載することができた。父親の育児参加についてもアンケート調査(79名分)を実施し、先輩パパとしてのリアルな声とニーズを掲載することができた。アンケート協力は合計214名。今後もさらにニーズを把握しながら、もっと読み易く、子育ての役に立つ情報誌となるよう協議していきたい。

## 【川越市協働事業審査委員会における評価】

			評価結果
A	9名	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	A
B	1名	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	0名	当該事業を協働事業として実施するには課題がある。事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0名	協働事業としてうまく機能しなかった。	

### 【事業に関するコメント】

前年の「こえどちゃん」と変わらず、多くの情報がわかりやすく掲載されていると思います。また、単なる行政情報にとどまらず、子育ての際に直面するような問題に対するアドバイスを盛り込んでいるのがとても素晴らしいです。NPO・行政・企業がそれぞれの強みを生かし、効果的に連携している理想的な協働事業であると思います。

今後も利用者の声を把握しながら、内容の充実を図っていただき、川越の子育て支援の特色が色濃く表れた情報誌の作成を望みます。

# 協働事業評価シート

部課名	環境部 環境政策課
記入団体名	福原ファームクラブ

平成29年度
--------

予算事業名	環境基本計画推進
-------	----------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	かわごえエコツアー事業	
協働事業の概要	市内の環境の現状と保全活動の大切さを学び自主的に環境活動に参加する人を増やすため趣旨に賛同した市民活動団体に協働委託して実施するものである。 実施日：平成29年10月25日（水） 行程：ウエスタ川越→くぬぎ山→あまみごえファーム→アントステラ→（仮）川越森林公園計画地→矢部農園→ウエスタ川越 参加者：27名	
協働事業の決算額	93,000円	円 ※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成29年10月25日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	35 点
------	------



事業当日の様子

### 【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

#### 【行政】

協働事業は、それぞれの団体（民間・行政）が持っている利点や得意分野を活かした事業ができる制度であると考えております。

今回のエコツアーに関しましては、団体側が有している環境に関する知識やネットワーク、行政が有している広報力や市民からの認知度を一体化することによって、より高い次元での事業が実施できたものと考えております。

企画内容は、バランスよくバラエティに富んだ内容となっており、参加者からの感想をみても、質の高いよい事業が実施できたものと考えております。

#### 【市民活動団体等】

エコツアーで一番心配なのは天候です。今回も小雨中での開催でした。自然環境に配した行程なので、変更が出来ない場合の対策は考えておきました。集合場所をウェスタとしましたが、当日、とある学校の修学旅行（大型バス17台）と時間が被ったため手配の小型バスが目立たず、手間取りました。くぬぎ山、(仮)川越森林公園計画地での散策は、大降りの雨では無かったため問題はありませんでした。参加者の装備に関しては、多少の不備な方もおられましたが、トイレの問題、昼食場所など、あらかじめ下調べをしています。大勢が参加すると時間を取られる事柄です。今回は、訪問先の対応と近隣の農家や、ジョイフルの公的施設の利用で解消しました。手配のバス会社の方も農道道路等、狭い道路を走っていただき、目的地に着くことが出来ました。多くの方の協力に感謝です。

農作業というワークショップを取り入れた初めての試みでした。参加者には好評で、次回開催時も何らかのワークを取り入れ、環境のことを知ってもらう企画を立てたいと思います。

### 【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	9名	A
B	1名	
C	0名	
D	0名	

#### 【事業に関するコメント】

毎年の企画内容が素晴らしく、川越市内の自然環境の現状を把握することで、環境維持・保全の意識啓発に直結する有益な事業であると思います。また、当日雨天の場合も想定してのスケジュールリングをしている点、普段立ち入ることが出来ない場所をツアーに組み込んでいる点が特に素晴らしいです。

今後も観光（蔵の街やクリアモール等の中心街）だけではない川越を知るきっかけとなるような場所を巡り、特に子どもたちが参加できるような企画をお願いします。

# 協働事業評価シート

部課名	市民部地域づくり推進課	平成29年度
記入団体名	NPO法人 アートバーズフォーラム	

予算事業名	協働の推進	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
-------	-------	--

協働事業名称	こえど市民活動ネットワークづくりプロジェクト	
協働事業の概要	市内の市民活動団体のネットワークづくりを目指し、①情報誌の発行（年2回）、②市民活動支援講座の開催（年4回）、③ワークショップの開催（年8回）と情報コーナーの活動促進等を行う。	
協働事業の決算額	500,000円	円 ※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成29年 7月1日 ~ 平成30 2月28日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	5	4	4.5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	4	4	4
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	4	4.5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	4	4
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	4	4.5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	4	4.5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	30 点
------	------



講座の様子

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

新規事業ということで、各事業の計画段階から活動団体ならではの提案をいただき、多く打ち合わせを行うことで、事業を実行することができたと思います。実施する中で、十分な周知ができなかったり、取材にかけられる期間が足りないことがあったので、必要作業の整理するとともにスケジュールの見直しを行いたいと思います。

【市民活動団体等】

市内では素晴らしい活動があっても、それらがそれぞればらばらに行われていて、広がりを持って活動するには、市民活動団体のネットワークづくりが必要ではないか、そんなメンバーからの提案からこのたび協働事業に結びついた。しかし実際は、各市民活動団体自体があまり連携に意識がない中、協働事業の目指すべき方向はどこなのか、団体内でもなかなか意見がまとまらず、行政の思いとの意見交換が早い段階で出来ていればと思った。講座をすすめてゆくうちに、各団体や個人を繋ぐ「ブリッジパーソン」としての役割を持つとういうふうに、段々とそれぞれの意識も変わってきた。いずれにしても、つねに全体の事業が見える形をとりながら、個々人の作業との連携をうまくはかれるよう、強かに推進してゆく力が必要だと思った。また紙面作成やチラシ作成、広報などをウェブやIT技術が必需だが、技術を持った人が少なく、作業負担が偏りがちという反省面もあった。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	3名	B
B	7名	
C	0名	
D	0名	

【事業に関するコメント】

各市民活動団体の特性や個性を理解し、かつネットワークを形成するためには、試行錯誤しながらの歩みだったと思いますが、講座やワークショップといった事業を実施し、連携していく中で、一定の方向性が見えてきたのではないのでしょうか。川越市内には市民活動に関心があるものの、何をしたらよいか分からない人、また関心がない人がいると思いますが、これらの人の参加を促すことも今後必要になると思います。当初の目的の達成に向けて頑張ってください。